

平成29年度 第三者評価「優れた取組」とされた学校の取組について

「優れた取組」
 高等学校： 狭山工業高等学校、熊谷高等学校、羽生実業高等学校、浦和高等学校、北本高等学校（計5校）

	観点	学校名	報告書所見
			具体的な取組内容
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	狭山工業高等学校	<p>（報告書所見）</p> <p>地域からの要請や進路の実態を踏まえ、「地域産業を担う技術者を育成する」という言葉に反映させるなど、昨年度見直しが図られた。学校の置かれた状況や課題を的確に把握した上で、特色を踏まえた適切な学校像となっており優れている。</p>
			<p>（具体的な取組内容）</p> <p>平成28年度に、目指す学校像をより地域に密着型の工業高校を目指して変更した。狭山市には大規模工業団地があり、地元企業に人材を供給するという学校の姿勢をあらためて明確に示した学校像である。</p> <p>新しい目指す学校像を実現するため、進路指導・資格取得・地域との連携の充実を図り、技能検定合格者及び第二種電気工事士合格者が増加し、地域のイベント等への参加数も増加した。また、遅刻・整容指導にも保護者と連携して継続的に取り組み、成果が上がっており、就職内定率100%はもとより、第一志望の進路決定率も上がっている。</p>
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	熊谷高等学校	<p>（報告書所見）</p> <p>伝統校としての実績・地域の期待、生徒の学力や進路の実態を踏まえ、重点目標が設定されている。目指す学校像を踏まえ、学校の取り組むべき課題が明確に示されており、日々の教育活動の指針となる優れたものとなっている。</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">重点目標</p>	<p>学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。</p>	<p style="text-align: center;">熊谷 高等学校</p>	<p>(具体的な取組内容)</p> <p>「熊高の三本の矢」ー伝統に培われた教育活動全般(学業・部活動・学校行事)ーに全力で取り組むことで、最後までやり抜く胆力をもった生徒の育成と「学ぶ集団づくり」を推進している。平成27年度に変更した重点目標を踏まえ、平成28年度入学生から進学型単位制を導入し、生徒の進路希望を見据えた多様な選択科目が学べる授業を展開している。今年度は、第2期スーパーサイエンスハイスクールに指定され、高度な教育活動を進め、生徒の意欲を高めている。</p> <p>また、部活動等での縦のつながり、40キロハイイクや臨海学校に代表される学校行事等による横のつながりをしっかりとつくり、厚みある人間力をもったリーダーの育成に向けて、教職員がベクトルを揃え組織的に取り組んでいる。</p> <p>目指す学校像を踏まえ、学校の取り組むべき課題が明確に示されており、日々の教育活動の指針となる優れた重点目標となっている。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">重点目標</p>	<p>学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。</p>	<p style="text-align: center;">羽生実業 高等学校</p>	<p>(報告書所見)</p> <p>学校に寄せられる地域の期待や学校の強み等を踏まえ、開かれた学校づくりの視点として「地域に貢献する」という文言を用いて重点目標の見直しが行われた。学校の取り組むべき目標が明確に示されており、今年度新たに地域の特産品を教材として栽培し、地域の学校給食へ提供するなど、日々の教育活動の指針となる優れたものとなっている。</p> <p>(具体的な取組内容)</p> <p>「開かれた学校づくり」を視点とした重点目標として、今年度見直しを行い「地域に貢献する開かれた学校づくり」とした。学校の強みである地域との繋がりの強さを踏まえて設定し、学校の目指すところが明確に示された積極的な内容となっている。重点目標を踏まえ、今年度新たに地域の特産品であるモロヘイヤを教材として栽培し、地域の学校給食への提供を行っている。これは、</p>

<p>重点目標</p>	<p>学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。</p>	<p>羽生実業高等学校</p>	<p>生徒が栽培する品種が教材として増えただけでなく、地域のモロヘイヤの栽培農家が減少しているなかで地域の活性化を図ることにもつながっている。他に「世界キャラクターさみっとin羽生」や「田んぼアート」の運営等に多くの生徒・教職員が関わるなど、地域に貢献する様々な取組が展開されている。その結果、地域の期待に応えているだけでなく、生徒が地域に出て貢献し、地域からの感謝の意を実感することで、自己有用感の醸成など生徒の意識の変容が見られ始めている。</p>
<p>重点目標達成への取組状況</p>	<p>重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。</p>	<p>なし</p>	
	<p>校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。</p>	<p>浦和高等学校</p>	<p>(報告書所見)</p> <p>校長が学校の教育理念と実現に向けた具体的な道筋を示し、学校の現状や課題を踏まえた明確な学校経営方針を持って取り組んでいる。校長の的確なリーダーシップの下、スーパーグローバルハイスクール事業などの取組を精力的に実施するなど、教職員が共通理解を持って教育活動に取り組み、広く学校の目標や取組について発信するなど優れた取組となっている。</p> <p>(具体的な取組内容)</p> <p>学校が目指す「尚文昌武の理念のもと、時代の求めるリーダーの育成」に向け、校長がリーダーシップを発揮し、課題解決に向けて全教職員に高い意識を持たせ、共通理解のもと、多様な学習環境の提供を行っている。特に、「スーパーグローバルハイスクール事業」を通して教職員が学校全体で、浦和高校教育を全国へ発信するとともに外部から刺激を受けて更に教育活動を進化・成長させている。</p> <p>また、生徒の主体的な学習を促す授業改善のため、授業公開期間を設定し、授業の公開及び教科を横断した授業検討会を実施するなど、「授業で勝負の浦高」において各教員の更なる授業力向上を学校全体で取り組んでいる。</p>

重点 目 標 達 成 へ の 取 組 状 況	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	北本 高等学校	<p>(報告書所見)</p> <p>校長は学校の課題を踏まえた明確な学校経営の方針を持ち、取り組んでいる。校長が的確にリーダーシップを発揮し、分掌・学年・教科などが学校全体の目標を理解した上で、K I S E P（北本市小中高相互交流事業）等の推進に、適切に連携して全校を挙げての優れた取組を行っている。</p> <p>(具体的な取組内容)</p> <p>北本高校は、北本市内唯一の県立普通科高校である。目指す学校像に「生徒・保護者・地域からの期待に応え、生徒の力を伸ばす学校」を掲げ、地域と共に歩む学校づくりが進められている。地元北本市内の中学校から進学する生徒の割合も増加している。</p> <p>校長のリーダーシップが的確に発揮され、教職員が共通理解を深めながら、地域と共に歩む学校づくりが推進されるなど全校を挙げて組織的な取組を展開している。特に、K I S E P (Kitamoto Inter School Exchange Program)「北本市小・中・高相互交流事業」や530（ごみゼロ）プロジェクトを積極的に展開し、地域からの期待に応えている。</p> <p>生徒にも地域からの期待に応えるという意識が浸透し、あいさつ運動、まなびあい事業、部活動合同練習会など、地元小学校・中学校との多方面に及び交流活動に参加し、地域に貢献し愛される学校として、優れた取組を行っている。</p>
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	なし	